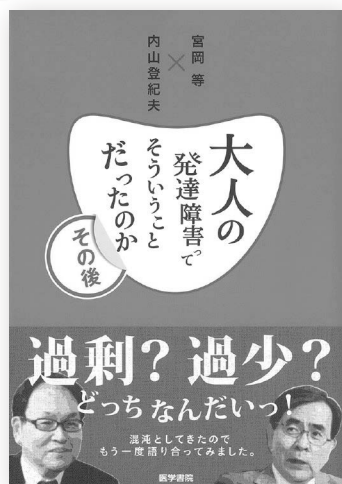


今月の特集関連本 ⑥



大人の発達障害って そういうことだったのか その後

宮岡 等、内山登紀夫＝著

定価 3,300 円／A5 判・330 頁／医学書院／2018

好評書『大人の発達障害ってそういうことだったのか』の続編。今回も一般精神科医と児童精神科医が、大人の発達障害（自閉症スペクトラム・ADHD など）をテーマに忌憚のない意見をぶつけ合った。過剰診断や過少診断、安易な薬物投与、支援をめぐる混乱など、疾患概念が浸透してきたからこそ浮き彫りになってきた新たな問題点についても深く斬り込んだ。



大人のトラウマを診るということ

こころの病の背景にある傷みに気づく

青木省三、村上伸治、鷲田健二＝編

定価 3,300 円／A5 判・224 頁／医学書院／2021

幼少期の虐待やいじめの経験など、精神科患者はトラウマを抱えているケースが多い。そんなトラウマへの気づき方や対応のコツなどを解説する 1 冊。精神科医が日常の外来で遭遇するような症例をとり上げながら、明日の臨床から参考にできるコツを披露する。発達障害とトラウマの関係についても詳述しており、まさに今日の精神科臨床で必要とされる知識が盛り込まれた内容となっている。